



日本アマチュア無線連盟



第 56 回 ALL JA コンテスト / 第 35 回 オール茨城 コンテスト 第 1 部に参戦中
左から、
JQ1LCW / JH1WGP / JE1RLK の各局、後方は監視役の JF1MFE 局

土浦アマチュア無線クラブニュース 平成 26 年 5 月号

お 知 ら せ

事務局 JH1WGP 大木 武

★ 第 35 回オール茨城コンテスト第一部参加とアイボール会開催

4月26日、27日 ALL JA コンテスト併設“第35回オール茨城コンテスト第一部”が開催され当クラブは、いつものように竜ヶ峰山荘に集まって参加しました。

また自宅からも参加した会員もおられ皆で力を合わせ優勝目指し奮闘しました。

今年は、土浦アマチュア無線クラブコール JR1YIQ の免許がコンテスト直前に降り初の運用がなされました。

アイボール会も素晴らしい天気にも恵まれ美味しい料理に舌鼓を打ちました。

参加局：

JA1EHQ、JA1IOA、JA1LIS、JA1PBV、JE1RLK、JF1KZD、JF1MFE、JF1PEL、JG1JGA 夫妻、JG1JLU、JG1NUV、JG1WMN、JH1KMB、JH1WGP、JN1VVE、JO1LEA、JQ1SLZ、JR1CCP、JR7AXJ、7M4OZD、ゲスト JQ1LCW

以上 22 名とお犬様二匹の参加（土日含め）でした。

自宅でコンテスト参加局：JA1IOA、JA1OVF、JI1WLL 参加各局ご苦労様でした。

★ 土浦アマチュア無線クラブ局：JR1YIQ 誕生

JA1PBV 伊藤さんから提供された JR1YIQ クラブコールがこの度「土浦アマチュア無線クラブ：JR1YIQ」として免許がおりました。伊藤さんには申請にあたり構成員、クラブ局定款のまとめ等ご苦労頂き有難うございました。

今回のオール茨城コンテストに間に合うべくメールにて構成員を募りましたが、今後ともコンテストはありますので会員の皆さん、是非クラブコールの構成員になって頂きますようお願い致します。尚、一般構成員としてコールサイン、氏名、無線従事者免許証番号が必要となります。協力して頂ける方は、既に当クラブ会員名簿がありますので実質的には無線従事者免許証番号を伊藤さん宛てにお知らせください。

★ “緊急” 会費納入について

平成 26 年度の会費納入期限は、4 月末となっています。未納の方は、会員名簿作成もありますので至急納入をお願いします。

役員経由、もしくは次の口座に振り込み下さい。

* 土浦アマチュア無線クラブ（年会費 3,000 円）

・水戸信用金庫土浦支店 普通 1000174

土浦アマチュア無線クラブ 代表者 矢口 蕃（ヤグチ シゲル）

* JR1VG レピータ（年会費 1,000 円）

・ゆうちょ銀行（振替にて送金となります）

口座番号：0320-2-35649

加入者名：JR1VG 管理団体

クラブ会費とレピータ会費の振り込み先が異なりますので注意して下さい

★ 新入会員の紹介

JH1KMB 吉澤 雅之さんが入会されました。皆さんよろしくお願い致します。

・住所： 小美玉市中延 免許： 1アマ

第 35 回オール茨城コンテスト第一部参加とアイボール会

JH1WGP 大木 武

風薫る五月晴れの土曜日午後 3 時ごろから三々五々竜ヶ峰山荘へ集まってきました。

今年はここからコンテストに参加したいと何と YL 局ゲストとして JQ1LCW 山上淑子さんが見えられました。山上さんは稲城市に住んでおられますが JA1PBV 伊藤さんの影響力があったのかも？

JA1PBV 伊藤さん、JR1CCP さんを中心に無線機のセッティング、夕食はカレーライスを作ると JF1KZD 池田さん、JN1VVE 高野さんが精を出して頂きました。また酒の肴にと前日 25 日 JG1WMN 葛綿さんが鋸山近辺の東京湾で見事釣り上げた黒鯛を刺身に仕立て頂きました。同じくその魚をカルパッチョ風に調理してくれワンちゃんと来てくれた JG1NUV 入山さんは、庭先にテントを張りワンちゃんと一夜を過ごされました。

そのほかに集合された各局は、JA1EHQ 深谷さん、JE1RLK 田中さん、JF1MFE 久松さん、JQ1SLZ 岡崎さん、7M4OZD 高橋さん、新入会員の JH1KMB 吉澤さん、JH1WGP の総勢 14 名が美味しいカレーライス、刺身、そのほかに多くの各局がお持ち頂いたビールやつまみでアイボール会前夜祭は盛り上がりしました。JF1MFE 局、JQ1SLZ 局、JA1EHQ 局、7M4OZD 局、JH1KMB 局の皆さんは夜遅くまでトークを楽しまれています。

同夜 21 時からのコンテストでは、クラブコール JR1YIQ の第一声は JE1RLK 田中さんでした。50MHz で夜遅くまで頑張りました。そのあとクラブコールを引き継いだのは JR1CCP 長塚さんで深夜、翌日とベテランが頑張りました。

JQ1LCW 山上さんは、まだ使ったことが無いというコンテストログを伊藤さんや久松さんに教わりながら 21MHz で多くの局から呼ばれていました。中には YB から呼ばれ海外から応援頂いたようでコンテスト向きのお方と思いました。英語も堪能と感じました。

JA1PBV 伊藤さんは、翌日アイボール会終了後皆さんが帰られたあと CW で大いに頑張られました。宿泊者は JA1PBV、JE1RLK、JR1CCP、JQ1LCW、JG1NUV+ワンちゃん、JH1WGP の 6 名でした。

明けて日曜日大変よい天気にも恵まれアイボール会も盛り上がる雰囲気となりました。11 頃には、予定の人員が揃いバーベキューが始まりました。仕込みは JF1KZD 局、JN1VVE 局、焼き当番は JE1RLK 局、それに JG1WMN 局が釣った黒鯛がまたまた刺身となり、焼き魚となり皆のお腹に入りました。

久しぶりに今や農作業に忙がしという JG1JGA 日野さんご夫妻が見えました。これを機会に無線やクラブ行事参加にアクティブになるとの事でした。

自宅からコンテストに参加し 300 局やったという JA1IOA 矢口さんも来られアイボール会後も頑張ると流石です。いつも笑顔で元気な JA1LIS 飯田さん、すっかりクラブに溶け込んだ JR7AXJ 佐藤さん、最近牛久レピータで忙しくなった JF1PEL 山越さん、いつも



生真面目な JG1JLU 斎藤さん、JO1LEA 松澤さんはビールを飲みすぎアイボール終了後も酔いを醒ますのに残ったようです。

なお、この行事が始まる前に、JN1VVE 高野さんが病から回復したことを記念し、ご本人が二本の桜の木を植えられました。元気に育つことでしょう。

参加各局本当にご苦労様でした。

アイボール会写真集

コールサイン、お名前は省略しています。





===== 追伸 (e-mail での連絡です) =====

臨時参戦された JQ1LCW 山上さん
(稲城市在住) より

お世話になりました。思い切り QSO でき、美味い物をいっぱい頂き、皆様とお喋りでき、



楽しかったです。許されるならまたお邪魔させていただければと思いますので、どうぞその様にお計らい頂きたく宜しくお願い申し上げます。



JA1OVF 山崎さん、アンテナ建設記

JA1PBV 伊藤 寧夫

3月号で紹介したアンテナですが、50MHzのアンテナに不具合があり再々建に至りました。私は傍観者として立ち会わせていただきましたが、日ごろの訓練のせいか見事な作業ぶりには驚かされました。再々建の最後まで立ち会いたかったのですが、現場にいると何かと口を出してしまうので、途中で失礼しました。

お手伝いは、JA1JTR 日高さん。クラブは離れましたがご健在。FCCのエクストラの免許も取得され、海外での運用を目論んでおられるようです。

壊れたのは50MHzの導波器を固定する成型部品、見事に割れています（右側）。左は自作で修復



老体に鞭打ち、タワー上での作業を進める山崎さん。50MHzの他に3エレトライバンドもあげました。

タワー上での作業は、老体に鞭打つ山崎さん。思いを告げるには万難を排するアマチュア無線家とでも言ったほうが良いかもしれません。

見学には、JI1WLL 小澤さんも見えました。



ゼロ戦その6

JH1WGP 大木 武

ラバウルは占領できたが、さらにオーストラリアをアメリカから遮断し孤立させるには、オーストラリア（VK）の目の上のたんこぶパプアニューギニア（P29）のポートモレスビーを占領する必要があった。ポートモレスビーにはアメリカ軍の強硬なる航空基地があった。それにはソロモン諸島側の海から攻めるのが有利と航空母艦を向かわせた。この作戦はアメリカに暗号解読されていてアメリカ、オーストラリア連合による航空母艦で警戒体制を敷いていた。昭和17年5月7日VKとP29、H44間にあるサンゴ海でやがて史上初、航空母艦対航空母艦の戦いが始まった。これが「サンゴ海海戦」である。日本軍は「祥鳳」「翔鶴」「瑞鶴」3空母、アメリカ軍「レキシントン」「ヨークタウン」、この戦いの中に日没後日本軍飛行機がアメリカ空母に着艦しそうになった。着艦寸前互いに気づき一機は撃墜されたが他は何とか逃げる事が出来たという。アメリカ軍にはレーダーが稼働し始めており日本軍の飛行機は捕捉されるようになりつつあった。

戦いは、互いに敵空母を発見しそれぞれ敵を目指し空母から発進、日本軍はレキシントンを撃沈、ヨークタウンを中破したが祥鳳が撃沈され翔鶴が大破し互角に終わった。しかし日本軍は開戦以来負け知らずの進撃がここでストップとなった。さらにポートモレスビーを海からの攻撃、占領する目的は中止された。だが中止とは言わなかったらしい。無期限延期だ。つまりあっさりと諦めた結果となった。



これにより、陸上から陸軍が攻めることになった。陸路から攻めるには延々と続くオーエン・スタンレー山脈が横たわっている。最高峰4,000mもある。この山のどれかの山を超えない限り辿り着けないしアメリカ、オーストラリア連合軍の強力な敵もいる。平成19年伊藤さんに連れられてソロモンへ行く時まず成田からポートモレスビー空

港降り立った。この空港に近づくにつれどこまでも続くこの山脈が上空からほんとうによく見えた。一目瞭然、無謀な作戦だったなあとよく分かりました。我々の親父の年代の兵士達が僅かな食糧と武器弾薬で投入されポートモレスビーの町が遠く見える処まで戦い抜いてきたが力尽き断念、以後餓えやマラリヤなど栄養失調や餓死で多くの兵士達が屍となってしまった。

結果的には、ポートモレスビーを制圧出来なかったが、ニューブリテン島ラバウルやその前進基地ニューギニア島ラエ基地から飛び立ったゼロ戦は基地が空襲を受けながらもポートモレスビー航空基地攻撃や山脈上空での実戦で優秀なるゼロ戦パイロット達は益々磨きがかかった。後に撃墜王と呼ばれる人が何人も生まれた。 つづく

<新入会員 JH1KMB 吉澤さん本人とシャックです>



本人コメント：

現在機械はあるのですが、アンテナがないため 144/430 は出られません。
近日中に GP 建てる予定ではありますが、仕事が忙しくなかなか建てられません。
現在移動免許を申請中なので、今月中（4月）にはおりて、最悪は車からでられるとは思いますが・・・

ご面倒をお掛け致しますが、よろしくお願いいたします。（土、日は仕事です）



今回の行事にお顔を出された吉澤さん、事務局長との2ショット

皆さん、記事をお待ちしています。近況で結構ですので、連絡してください。

平成 26 年度 第 2 号	通巻 462 号	JARL 登録番号 14-1-0018
発行日：平成 26 年 5 月 1 日	発行者：土浦アマチュア無線クラブ 事務局	
オンエア ミーティング：毎週月曜日 PM9：00～ JR1VG レピータ（439.70MHz）		